

2022.

5/15

(日)

# 『生きててよかった』公開記念 舞台挨拶付き上映

登壇：鈴木太一監督

1976年6月16日、東京都出身。早稲田大学第二文学部卒業後、ENBUゼミナールにて映画制作を学ぶ。その後、篠原哲雄監督に師事。2011年、監督・脚本で『くそガキの告白』を制作し、長編映画デビュー。同作でゆうばり国際ファンタスティック映画祭審査員特別賞、シネガーアワード賞、ベストアクター賞、ゆうばりファンタランド大賞(人物部門)の4冠受賞を達成。その後、テレビドラマなどの映像作品に監督・脚本で携わる。主な作品に、ドラマ24「みんな!エスパーだよ!」(13)、BSスカパー!「PANIC IN」(15)、テレビ朝日「豆腐プロレス」(17)(脚本のみ)、キネカ大森先付けムービー「もぎりさん session2」(19)、オムニバス映画『THEATERS』(2022年公開予定)など。

登壇：木幡竜さん

1976年9月12日、神奈川県出身。プロボクシングB級ライセンスを所持し、プロボクサーとして活躍後、03年に俳優デビュー。2009年の中国映画『南京!南京!』で見出され、単身中国へ活動の拠点を移す。その後、さまざまな中国映画、ドラマに出演。アンドリュウ・ラウ監督の『レジェンド・オブ・フィスト 怒りの鉄拳』(11)では、ドニー・イェン、スー・チー、アンソニー・ウォンらと並んで悪玉のトップを演じた。日本人としては珍しく中国人の役も演じるようになり、ゴードン・チャン、フォン・シャオガン監督らの作品に次々と出演している。テレビドラマ「紅いコーリャン」(89)では、中国のトップ女優ジョウ・シュンとも共演を果たしている。日本では2019年に公開された『サムライ マラソン』(バーナード・ローズ監督)で、俳優の長谷川博己演じる藩主を狙う刺客役を演じたほか、2021年に放送された綾野剛主演のフジテレビ系ドラマ「アバランチ」で、綾野演じる主人公が唯一倒せない強敵の、秘密組織“極東リサーチ”のメンバー・貝原を演じ、そのキレの良いアクションと独特の存在感で注目を集めた。

©2022/ハビネットフアトム・スタジオ



日時

5/15(日) 9:20の回 上映終了後 ※11:25~20分程度

場所

伏見ミリオン座 ミリオン1 地下鉄伏見駅1番出口徒歩1分

登壇

木幡竜さん、鈴木太一監督(予定)

料金

通常料金 (ムビチケ・各種割引 利用可/招待券 利用不可)

チケット

<WEBオンライン購入> 5/13(金)0:00~ ※5/12(木)24:00~

劇場公式HP内(eiga.starcat.co.jp)[チケット購入]ページに販売(クレジット決済のみ)

<劇場窓口購入> 5/13(金)劇場オープンより

※WEBにてチケット完売の場合、劇場での販売はございません。

【注意事項】※登壇者、舞台挨拶の実施は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。※入場券発行後はいかなる事情が生じても、変更及び払い戻しはいたしかねます。※転売目的での購入は、固くお断り致します。※特別興行につき、招待券はご利用いただけません。※場内でのカメラ(携帯カメラ含む)・ビデオによる撮影、録音等は固くお断りいたします。

■全てのご来館のお客様にマスクの着用をお願い致します。ご着用頂けない場合、ご入場をお断りさせていただきます。また、会話は最小限にして頂くようご協力をお願い致します。■全てのご来場のお客様へ入場前の検温をお願い致します。劇場入口に非接触体温検知機を設置しています。37.5度以上の発熱を確認した場合、ご入場をお断りさせていただきます。

伏見ミリオン座にて公開

eiga.starcat.co.jp

地下鉄「伏見」駅①出口から東へ徒歩1分